

たかすっ子

学校だより 第5号
令和7年9月16日発行
千葉市立高洲第四小学校

夏休みの経験を生かして

校長 高見 智美

今年度は、昨年度より一週間遅く学校生活がスタートしましたが、9月だというのに暑さは落ち着かず、業間や昼休みに外で遊ぶことができない日が続いています。ある日の業間休みに教室を回ってみると、子供たちは、屋内での安全な過ごし方を工夫していました。読書、ギガタブ、自由帳、友達とのおしゃべり、百人一首、ドミノ、夏休み作品展を見に行く等、一人一人が思い思いに過ごしていました。それでも、学校の広い校庭で遊ぶことを楽しみに来ている子も多いはずです。早く屋外で自由に活動できる日が来ることを願うばかりです。

さて、夏休みが明け、いよいよ学校生活がスタートしました。夏休み前のオンライン集会で、子供たちには、「44日間は、自分が変われる、成長するだけの十分な時間があるので、一つでいいから頑張ることを決めて、それを継続して、充実した夏休みを過ごしてほしい。」という話をしました。夏休み明け集会では、各学年の代表の児童が夏休みに頑張ったことを発表しました。「漢字や計算等の学習に取り組んだ」「家の手伝いを欠かさず行った」「運動を頑張った」「〇〇を練習したらできるようになった」等、画面の向こうの全校児童に、堂々と話していました。自分自身では変わったことに気付かなくても、夏休み中、学校を離れていろいろな体験をし、人と触れ合うことで、一人一人が確実に成長できたのではないかと思います。これから学校生活でも、身に付けたことを生かし、さらに自分自身に磨きをかけていきましょう。

9月2日（火）には、津波の避難訓練を行いました。子供たちが避難する様子を見ていましたが、誰一人しゃべらず、落ち着いて4階に上がってきました。避難の合言葉「お・か・し・も」（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）をしっかりと守って行動てきて、素晴らしかったです。授業中でも、四小の子供たちは話をよく聞いており、きっと何が起きても、正しく情報を得て、判断し、行動できる！と思いました。やはり、普段から落ち着いて過ごしていることが大切ですね。災害が、どのような場所で、どのような時間帯に起きたとしても、自分の命は自分で守れるよう、どのように行動するのか想定しておくとよいです。ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。

9月5日（金）から、夏休み作品展が始まりました。どの作品も個性が溢れ、力作ぞろいです。ご家庭では、お子さんが調べたいこと、やってみたいことを聴いて、相談に乗る、一緒に観察したり見守ったりする、材料を集め、場所の提供等、様々な形でご協力をいただいたことと思います。ありがとうございました。子供たちもお互いの作品を見に行き、工夫を学んだり、頑張りを認め合ったりする大変よい機会となっています。また、初日は台風で雨が降っていましたが、参観に足を運んでくださった方もいらっしゃって、子供たちの励みになり、大変ありがとうございます。

今後も子供たちの健康管理に気を付けながら、さらに教育活動を充実させていきたいと思いますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひします。

<10月・11月の行事予定>

学校の様子（7月～9月）

＜夏休み前・夏休み明け集会（オンライン配信）＞

熱中症予防のため、全校集会は音楽室からのオンライン配信で行いました。絵をかく会や健歯児童の表彰、夏休みに頑張りたいことや頑張ったことなどの発表を行いました。



＜ニコワク活動＞

6年生がリーダーとなり、縦割り活動を行いました。全学年の児童が6グループに分かれ、クイズやフルーツバスケットなどのレクリエーションを皆で仲良く行っていました。



＜1年生 水遊び＞

悪天候と高温の日が多く、なかなか実施できずにいた水遊びを行いました。青空のもと、皆で水を掛け合ったり小さなプールの水に浸かったりと、とても気持ちよさそうに遊んでいました。



＜全校避難訓練（津波想定）・4年人権教室・5、6年バレーボール観戦 など＞

その他にも、津波を想定して4階に避難する訓練や人権教室、ポートアリーナで行われたネーションズリーグの観戦など、様々な活動・学習を行いました。

